



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



社会における自己の生き方を考える ～社会の様々な人・職業にふれる～

本校では、今年度も「クラブ活動」を通して、子どもたちが地域や社会とつながりながら学ぶ活動を進めています。大きな特徴は、クラブ活動をすべて外部講師の方々に担当していただいていることです。地域で活躍されている方や、その道に専門性をもつ“本物のプロ”から直接学ぶことで、子どもたちは学校の授業だけでは得られない貴重な経験を積むことができます。今年度は、以下のクラブを実施しています。

- 木エクラブ
- シーリングスタンプクラブ
- 公民館クラブ
- 羊毛フェルトクラブ
- 野鳥観察クラブ
- ものづくりクラブ
- ギタークラブ



クラブ活動は年間6回実施し、4年生以上の児童が、自分の興味や関心に応じて選択して参加します。



5月14日には、第1回目の活動を行いました。子どもたちは、講師の方々の話に真剣に耳を傾けながら、実際に道具に触れたり、作品づくりに挑戦したりして、生き生きと活動していました。

さまざまな大人との出会いや、本物の技術・考え方に触れる経験は、「自分は何が好きなのか」「将来どんなことをしてみたいのか」を考えるきっかけにもなります。

これからも地域の皆様のお力をお借りしながら、子どもたちが社会とのつながりを感じ、自分らしい生き方を考えられる教育活動を進めてまいります。

図書室がもっと便利に！ タブレットで広がる読書の世界

平林小学校では、今年度、読書活動を大切にし、毎週月曜日の5時間目の10分間を「読書タイム」として取り組んでいます。また、子どもたちが、より楽しく、より手軽に本に親しめるよう、図書室の管理システムを新しくしました。今回の大きな特徴は、「QRコード」と「タブレット」の活用です。



1 QRコードでスムーズな図書管理

図書室にある約 3700 冊のすべての本を QR コードで管理するようになりました。これにより、「どの本がどこにあるのか」「誰が借りているのか」「返却されているか」などを、リアルタイムで正確に把握できるようになります。

貸し出しや返却の手続きも簡単になり、子どもたち自身でスムーズに利用できる環境づくりを進めています。

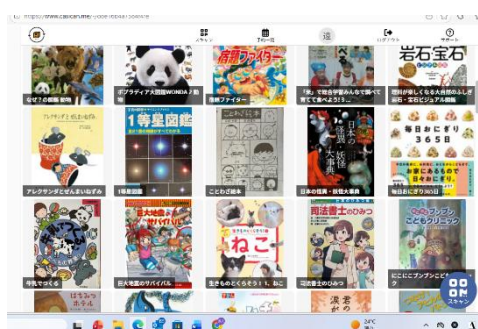


2 タブレットでいつでも本を検索

児童は、一人一台の学習用タブレットを使って、図書室に行かなくても教室や自宅から本を探することができます。

本の題名が分からなくても、「冒険」「動物」「人気」「スポーツ」「こわい話」などのキーワード検索を使い、興味のあるテーマの本を簡単に見つけることができます。

「どんな本を読めばよいか分からない」という子どもでも、自分の興味に合った本と出会いやすくなります。



3 予約や貸し出しもタブレットで

気になる本が見つかったら、そのままタブレット上で予約をしたり、貸し出しの手続きを行ったりすることができます。

人気の本も事前に予約できるため、「読みたいのに借りられない」ということが減り、より多くの本に親しめるようになります。

4 ご家庭でも広がる「読書」と「家庭学習」

このシステムは、インターネットにつながる環境であれば、ご家庭からでも利用できます。親子で本選び、おうちの方と一緒にタブレットを見ながら、「次はどの本を読もうか」「この本、おもしろそうだね」と相談しながら本を選ぶことができます。家庭学習の一環として自宅で予約した本を学校で借り、ご家庭と一緒に読む時間を「家庭学習」の一つとして取り入れてみませんか。

家族で同じ本について話したり、感想を伝え合ったりする時間は、子どもたちの語彙力や表現力を育てるだけでなく、新しい興味や関心を広げるきっかけにもなります。これからも、子どもたちが「本って楽しい」「もっと読みたい」と感じられる環境づくりを進めてまいります。

下記のリンク・または QR コードからご意見・ご質問をフォームでお聞かせください。お電話等でも随時、お待ちしております。

<https://forms.gle/i8NdZ4DsiAyFqVJi6>

